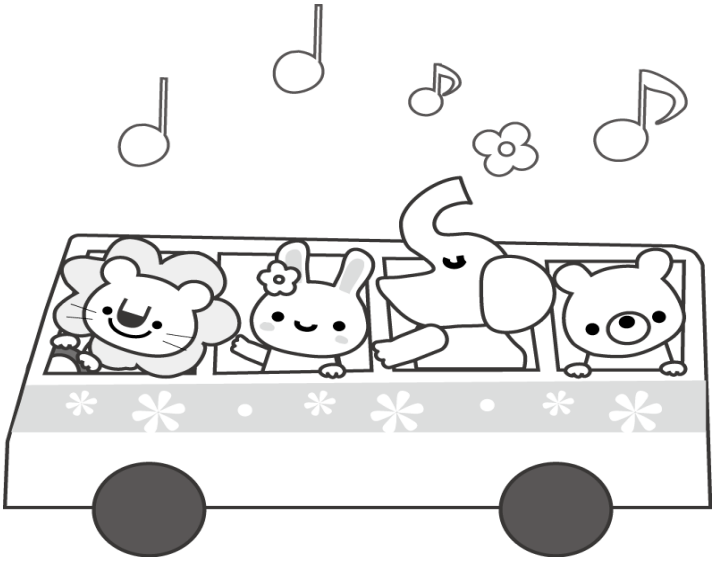
予防接種のしおり



おところ	函館市
おでんわ	
お子さん のお名前	
保護者の お 名 前	

函　館　市

《小学校入学前までの定期予防接種一覧表》

<table>
<tr><th colspan="2">区　分</th><th>接種対象年齢</th><th>接種日時</th><th>接種回数</th><th>接種場所</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td colspan="2">ＢＣＧ</td><td>生後３か月～１歳未満</td><td rowspan="10">通年</td><td>１回</td><td rowspan="10">予防接種
実施医療
機　　関</td><td>詳しくは６ページをご覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ロタ
ウイルス</td><td>２回接種ワクチン
（ロタリックス）</td><td>出生６週０日～２４週０日後</td><td>２回</td><td rowspan="2">標準的な初回接種は生後２月から出生１４週６日後までです。
詳しくは，７ページをご覧ください。</td></tr>
<tr><td>３回接種ワクチン
（ロタテック）</td><td>出生６週０日～３２週０日後</td><td>３回</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒ　ブ</td><td rowspan="2">生後２か月～５歳未満</td><td rowspan="2">備考欄を
参　　照</td><td rowspan="2">接種開始時期により異なります。
詳しくは９・１０ページをご覧ください。
<table><tr><th>初回接種時期</th><th>生後２～６か月</th><th>生後７～１１か月</th><th>１歳</th><th>２～４歳</th></tr><tr><td>ヒブ</td><td>４回</td><td>３回</td><td>１回</td><td>１回</td></tr><tr><td>小児用肺炎球菌</td><td>４回</td><td>３回</td><td>２回</td><td>１回</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="2">小児用肺炎球菌</td></tr>
<tr><td colspan="2">Ｂ型肝炎</td><td>１歳未満</td><td>３回</td><td>詳しくは１０ページをご覧ください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">四種混合
（ジフテリア
百日せき
破傷風
不活化ポリオ）</td><td>生後２か月～
７歳６か月未満</td><td>１期初回３回
１期追加１回</td><td>第２期は，小学校６年生のとき接種します。
（個別通知します）
詳しくは１１ページをご覧ください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">麻しん風しん混合
麻しん
風しん</td><td>第１期 １歳～２歳未満
第２期 ５歳～７歳未満</td><td>各１回</td><td>第２期は，小学校入学前の１年間の時期に接種します。（個別通知します）
詳しくは１２ページをご覧ください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">水痘</td><td>１歳～３歳未満</td><td>２回</td><td>詳しくは１３ページをご覧ください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">日本脳炎</td><td>第１期　生後６か月～
７歳６か月未満
第２期　９歳～13歳未満</td><td>１期初回２回
追加１回
２期　　１回</td><td>詳しくは１４ページをご覧ください。</td></tr>
</table>

※ 予防接種実施医療機関は，１８・１９ページをご覧ください。

ワクチンデビューは，生後２か月から

定期予防接種の多くは，生後２か月から始まります。
赤ちゃんをワクチンで防ぐことができる病気から守るために，
できるだけ早くワクチンを接種することが大切です。

このしおりには，予防接種法で定めている定期予防接種の必要性，効果，副反応などについての説明が書かれていますので，よくお読みください。

◆ 標準的に生後２か月から受けることができるワクチン

ヒブ 小児用肺炎球菌	平成２５年４月から定期予防接種になりました。
Ｂ型肝炎	平成２８年１０月から定期予防接種になりました。
ロタウイルス	令和２年１０月から定期予防接種になりました。
四種混合	令和５年４月から開始時期が変更になりました。

◆ 接種するワクチンの種類や回数が多いので，複数のワクチンを同時に接種する（同時接種）こともできます。安全性は単独で接種した場合と変わりがないとされています。接種する医師にご相談ください。

☆函館市の予防接種の情報は，ホームページでも確認できます。

函館市　予防接種

―もくじ―

○ 予防接種予診票について …… 1
○ 予防接種の必要性 …… 2
○ 副反応について …… 2
○ 予防接種の受け方 …… 2
○ 接種前の注意…… 3
○ 病気にかかったとき
　次の予防接種を受けるまでの間隔 …… 3
○ 予防接種を受けられない人 …… 3
○ 予防接種を受けるに際し,
　医師とよく相談しなくてはならない人 …… 4
○ 予防接種後の一般的注意 …… 4
○ 健康被害救済制度について …… 4
○ 各種予防接種の間隔 …… 5
○ ＢＣＧワクチン …… 6
○ ロタウイルスワクチン …… 7・8
○ ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン …… 9・10
○ Ｂ型肝炎ワクチン …… 10
○ 四種混合ワクチン …… 11
○ 二種混合ワクチン（第２期）…… 11
○ 麻しんおよび風しんのワクチン …… 12
○ 水痘ワクチン …… 13
○ 日本脳炎ワクチン …… 14
○ 小学生・中学生になってからの定期予防接種 …… 14
○ 定期予防接種の対象となる病気の説明 …… 15～17
○ 主な任意の予防接種 …… 17
○ 予防接種の記録について …… 17
○ 予防接種実施医療機関 …… 18・19
○ 委任状・各種予防接種予診票

【予防接種予診票について】

このしおりには，予防接種法に基づく定期の予防接種（ＢＣＧ，ロタウイルス，ヒブ，小児用肺炎球菌，Ｂ型肝炎，四種混合，麻しん風しん混合，水痘，日本脳炎）の予防接種予診票が添付されています。予診票は予防接種の種類によって使用する用紙が決まっています。

予診票は予防接種の種類によって使用する用紙が決まっています。

ＢＣＧ予防接種予診票（１枚）　・・・・・・・・・・・・・・　空色

ロタウイルスワクチン接種予診票

（ロタリックス・ロタテック，３枚）・・・・・・　ラベンダー色

※ロタテック３回目を接種する場合のみ３枚目を使用する

ヒブワクチン接種予診票（４枚）　・・・・・・・・・・・・　薄緑色

小児用肺炎球菌ワクチン接種予診票（４枚）　・・・・・・・・　青色

Ｂ型肝炎予防接種予診票（３枚）　・・・・・・・・・・・・・　灰色

四種混合予防接種予診票（４枚）　・・・・・・・・・・・・　薄黄色

（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）

麻しん風しん混合予防接種予診票（１枚）　・・・・・・・・　白茶色

水痘予防接種予診票（２枚）・・・・・・・・・・・・・　オレンジ色

日本脳炎予防接種予診票（３枚）・・・・・・・・・・・・・・　藤色

この予診票を，接種場所である実施医療機関（１８・１９ページ参照）に持参することにより，**無料**で受けられます。

※　対象年齢以外は有料になりますので御注意ください。

※　**函館市に住民登録をしている方**のみ使用できます。

※　里帰り等により市外に長期滞在している方で，滞在先での接種を希望される方は，子ども未来部母子保健課まで御連絡ください。

※　他市町村に転出した場合は，この予診票を使用して予防接種は受けられませんので，転出先の保健センター等にお問い合わせください。

※　予診票を紛失した場合は再発行できますので，母子健康手帳をお持ちのうえ，子ども未来部母子保健課までお越しください。

【予防接種の必要性】

生まれたばかりの赤ちゃんは，お母さんからもらった免疫（抗体）によって多くの病気から守られていますが，それも数か月のうちになくなってしまいます。

子どものまわりにはいろいろな細菌やウイルスが存在しており，子どもに感染します。軽いものから，命にかかわるような重い感染症までいろいろです。

軽いものでも中には重い合併症を起こすこともあります。そのために，予防接種を受けて**十分な免疫をつけておく必要がある**のです。

【副反応について】

予防接種の後に，熱が出たり，きげんが悪くなったり，はれたり，しこりができたりすることがありますが，多くは2～3日で自然に消えてしまいます。このような変化を副反応と言います。そのほとんどがいわば生体の反応である一時的な症状で，本当に病気にかかったリスクに比べると軽く，重度の副反応はきわめてまれです。（それぞれの予防接種のページの接種後の注意をご覧ください。）

【予防接種の受け方】

1　この“予防接種のしおり”に添付している予防接種予診票を，母子健康手帳とともに持参してください。
2　予診票は，自宅で記入してお持ちください。
3　当日の朝，自宅で体温を測ってください。（37.5℃以上は接種できません。）
4　再度，接種会場で体温を測ります。（37.5℃以上は接種できません。）
5　予診後，予診票に保護者のサインをお願いします。

◎個別接種　===> 医療機関

- **医療機関にあらかじめ電話で予約してください。**（18・19ページ参照）
- お子さんの健康状態によって，当日接種できないこともありますので，念のため健康保険証と子ども医療費受給者証（お持ちの場合）を御持参ください。

【接種前の注意】

1　受ける予防接種についての必要性や副反応のことをよく理解しましょう。わからないことは，接種を受ける前に接種する医師に質問しましょう。

2　予診票は責任を持って記入し，**母子健康手帳を必ず**持参しましょう。

3　受ける前日は入浴（またはシャワー）をさせ，体を清潔にしましょう。

4　朝からお子さんの状態をよく観察し，ふだんと変わったところのないことを確認しましょう。接種を予定していても**体調が悪い**と思ったら，**やめる勇気を持ちましょう。**

5　お子さんの日頃の状態をよく知っている保護者の方が連れて行きましょう。やむを得ず，**保護者が同伴できない場合**は親族等が同伴することができます。その場合は**「委任状」**の提出が必要です。

　委任状は，このしおりに添付されている他，子ども未来部母子保健課や実施医療機関でお渡しできます。（函館市ホームページ「予防接種のご案内」からダウンロードできます。）

【病気にかかったとき次の予防接種を受けるまでの間隔】

麻しん（はしか），風しん，水ぼうそう，おたふくかぜ，突発性発疹，インフルエンザ等にかかった場合には，お子さんの全身状態の改善を待って，一定の間隔をあけて接種する必要があります。あける間隔は，かかった病気によって違いますので，主治医等に相談してください。

主な感染症	治ってから予防接種を受けるまでにあける間隔
麻しん（はしか），ヘルペス等	4週間
風しん，水ぼうそう，おたふくかぜ等	2～4週間
突発性発疹，手足口病，インフルエンザ，溶連菌感染症，乳児嘔吐下痢症等	2週間

【予防接種を受けられない人】

1　明らかに発熱（37.5℃以上）している人

2　重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人

3　その日受ける予防接種の接種液に含まれる成分により，アナフィラキシー（強いアレルギー反応）などの異常な症状を起こしたことのある人

4　その他，医師に接種が不適当な状態と判断された人

【予防接種を受けるに際し，医師とよく相談しなくてはならない人】

１　心臓血管系疾患，腎臓疾患，肝臓疾患，血液疾患および発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな人
２　前に予防接種を受けたとき，２日以内に発熱や発疹，じんましんなどアレルギーと思われるような異常がみられた人
３　今までにけいれんを起こしたことがある人
４　過去に免疫不全の診断がなされている人
５　接種しようとする接種液成分に対して，アレルギーを呈するおそれのある人

【予防接種後の一般的注意】

１　予防接種を受けたあと**３０分前後**は，接種会場でお子さんの**様子を観察**しましょう。やむを得ず接種会場を離れるときは医師とすぐ連絡をとれるようにしておきましょう。急な副反応はこの間に起こることがあります。
２　生ワクチンでは４週間，不活化ワクチンでは１週間は接種後の副反応の出現に注意しましょう。
３　接種当日は，激しい運動はさけましょう。
４　当日の入浴は差し支えありませんが，注射した部位をこすることはやめましょう。
５　接種後は，お子さんの様子をよく観察し，**異常な症状**が出た場合は，**接種医師に相談**してください。接種医師にかかることができないときは，予防接種実施医療機関（１８・１９ページ参照）に相談しましょう。

【健康被害救済制度について】

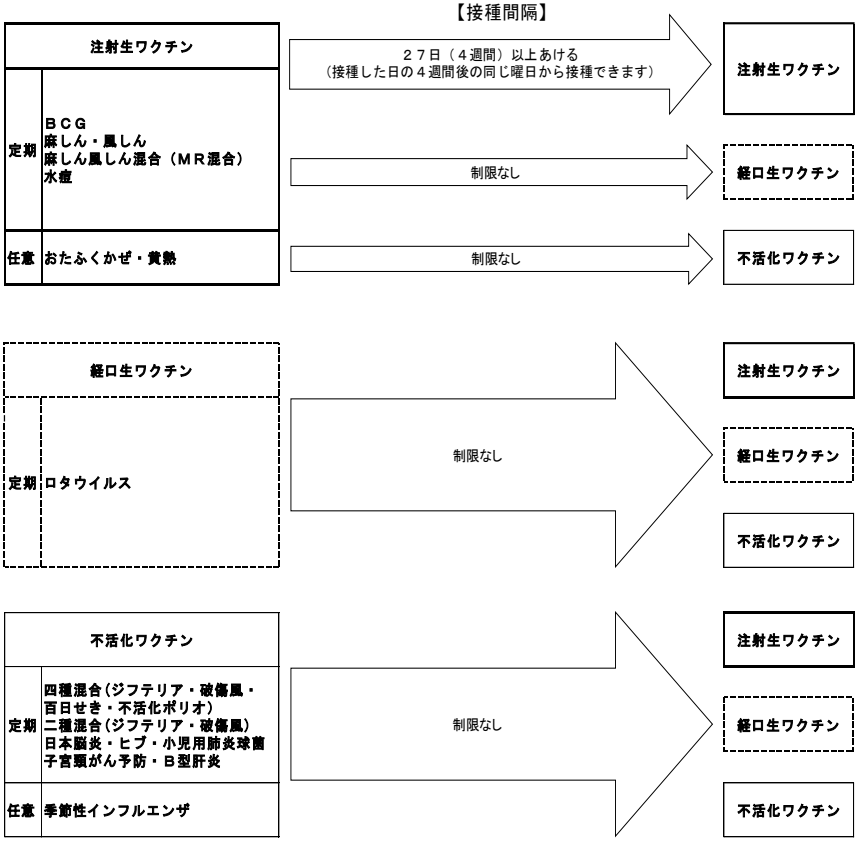
予防接種法に基づく定期の予防接種による副反応により，医療機関での治療が必要になったり，生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じ，国の審査会で認定された場合は，その程度に応じて，予防接種法に基づく救済（医療費，医療手当，障害児養育年金，障害年金，死亡一時金，葬祭料）を受けることができます。

また，法に基づかない予防接種（おたふくかぜ等）により健康被害が生じた場合は，医薬品医療機器総合機構法に基づく救済を受けることになります。

【各種予防接種の接種間隔】

令和２年１０月から異なるワクチンの接種間隔が変更となりました。

また，ロタウイルス，ヒブ，小児用肺炎球菌，Ｂ型肝炎，四種混合，日本脳炎，水痘の各ワクチンで，同じワクチンどうしの間隔については，６ページ以降を参照してください。



【ＢＣＧワクチン】（個別接種）令和４年４月から，個別接種になりました

結核を予防するワクチンです。病気の説明は１５ページをご覧ください。

１　対象者　　生後３か月～１歳未満のお子さん
（標準的接種期間　生後５か月～８か月）

２　接種回数と受け方

スタンプ方式の接種を１回接種します。１歳から受けられる予防接種との接種間隔を確保するためにも，**生後１１か月までに接種しましょう**。

３　接種前の注意

副腎皮質ホルモン剤（ステロイド）を使用していると，一時的に免疫力が低下するので反応が強く出る場合があります。軟膏の場合は，接種２日前から接種部位（肩からひじにかけての部位）に塗るのは控えてください。

主に左腕に接種しますが，湿疹がある場合は，右腕に接種することもあります。

４　接種後の注意

※一般的注意事項については３・４ページを参照してください。

①　接種部位は，**じゅうぶん自然乾燥**させてください。

②　接種を受けたところをもんだり，ひっかいたりしないでください。

③　接種後１０日頃に赤いポツポツができて一部に小さくうみをもったりします。この反応は接種後４週間頃に最も強くなりますが，その後かさぶたができて接種後３か月までには治り，小さな傷あとが残るだけになります。これは異常反応ではなく，免疫がついた証拠です。包帯をしたり，バンソウコウをはったりしないで，そのまま普通に清潔を保ってください。

④　わきの下のリンパ節がはれることがあります。熱や痛みはないものですが，大きくなるようなら（２～３㎝以上），医師に相談してください。小さいものは自然に治ります。

⑤　異なる注射生ワクチンの接種は，**ＢＣＧ接種後４週間（２７日）以上の間隔**をあけて受けましょう。

【ロタウイルスワクチン】（個別接種）

ロタウイルスによる胃腸炎を予防するワクチンです。下記のとおり２種類のワクチンがあり，接種回数等が異なりますので，同一のワクチンにより規定回数の接種を完了してください。病気の説明は，１５ページをご覧ください。

１　対象者　令和２年８月１日以後に生まれたお子さん

※腸重積症の既住歴のあることが明らかなお子さん，先天性消化管障害の所見を有するお子さん（その治療が完了したものは除く），重症複合免疫不全症の所見が認められるお子さんは接種対象となりません。

２　接種時期と受け方

ワクチンの種類	２回接種ワクチン（ロタリックス）	３回接種ワクチン（ロタテック）
接種時期	出生６週０日から２４週０日後まで	出生６週０日から３２週０日後まで
接種間隔 接種回数	４週間（２７日）以上の間隔で２回	４週間（２７日）以上の間隔で３回

３　標準接種期間について

いずれのワクチンも，初回の標準的な接種期間は，生後２か月から出生１４週６日後までとなっています。出生１５週０日以降の初回接種は，腸重積症の発症リスクが高くなるので，接種する医師と十分ご相談ください。

４　接種後の注意事項

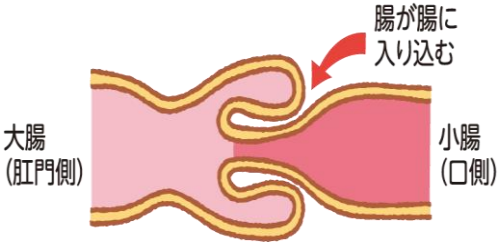
※一般的注意事項については３・４ページを参照してください。

①　接種後に接種液を吐き出したとしても追加投与の必要はありません。

②　ロタウイルスワクチンの接種（特に初回接種）では，１～２週間程度は，腸重積症のリスクが高まるとの報告があります。ワクチンの接種後に激しく泣いたり，不機嫌になったりを繰り返す，血便，嘔吐等，腸重積症を疑う症状が見られた場合には，速やかに医師に相談してください。

腸重積症について

腸重積症とは，腸の一部が腸のほかの部分に入り込み，腸が閉塞した状態になることです。０歳児の場合には，ロタウイルスワクチン接種の有無に拘わらず，起こる病気ですので，気をつける必要があります。



【ヒブワクチン，小児用肺炎球菌ワクチン】（個別接種）

細菌性髄膜炎，肺炎，重い中耳炎などの感染症を予防するワクチンです。病気の説明は１５ページをご覧ください。

１　対象者　　生後２か月～５歳未満のお子さん

２　接種回数と受け方　　下記のとおり，**接種開始時期によって異なります。**

ヒブワクチン

Ａ《生後２か月～６か月で接種開始》　※この時期での接種をお勧めします

初回：**４～８週間の間隔**で**３回**接種します。

（※医師が必要と認めた場合には３週間の間隔で接種できます。）

追加：初回３回目を接種後，**７～１３か月の間に１回**接種します。

初回１回目 → ２回目 → ３回目 → １期追加

４～８週間　４～８週間　７～１３か月

Ｂ《生後７か月～１１か月で接種開始》

初回：**４～８週間の間隔**で**２回**接種します。

（※医師が必要と認めた場合には３週間の間隔で接種できます。）

追加：初回２回目を接種後，**７～１３か月の間に１回**接種します。

Ｃ《生後１歳～４歳で接種開始》　**１回**のみ接種します。

※Ａ・Ｂの「初回」は，１歳までに所定の回数を完了しなかった場合，「初回」はそれ以上行いません。（「追加」は行います。）

小児用肺炎球菌ワクチン

Ａ《生後２か月～６か月で接種開始》　※この時期での接種をお勧めします

初回：１歳までに**４週間以上の間隔**で**３回**接種します。

追加：初回３回目を接種後，**６０日以上の間隔をおいて,生後１２～１５か月の間に１回接種**します。

初回１回目 → ２回目 → ３回目 → １期追加

４週間以上　４週間以上　６０日以上（※1 歳以降）

Ｂ《生後７か月～１１か月で接種開始》

初回：**４週間以上の間隔**で**２回**接種します。

※ただし2回目の接種は，生後１２か月までに接種してください。

追加：初回２回目を接種後，**６０日以上の間隔をおいて１歳を過ぎてから１回接種**します。

Ｃ《生後１歳で接種開始》　**６０日以上の間隔をおいて２回**接種します。

Ｄ《生後２歳～４歳で接種開始》　**１回**のみ接種します。

※Ａの「初回」は，２歳までに所定の回数を完了しなかった場合，「初回」はそれ以上行いません。また，「初回」の2回目の接種が１歳を超えた場合は，「初回」の3回目は行ません。（「追加」は行います。）

※Bの「初回」の２回目の接種は，２歳を超えた場合は行いません。
（「追加」は行います。）

３　接種間隔について

ヒブワクチン，小児用肺炎球菌ワクチンの免疫を効果的につけるためには，前述の間隔を守ることが重要です。説明文にある受け方は，標準的な接種間隔であり，これを外れてしまった場合でも接種することはできますが，ワクチンの免疫を効果的につけるために，所定の間隔を守ることがとても重要です。

４　接種後の注意

※一般的注意事項については３・４ページを参照してください。

①　予防接種後に接種部位が赤くなったり，腫れたり，しこりができることがありますが，このときは接種部位を冷やしてください。

ただし，発熱（１～２日目）やひじをこえて上腕全体がはれる等の**症状**があるときは，医師の診察を受けてください。

【B型肝炎ワクチン】（個別接種）

B型肝炎を予防するワクチンです。病気の説明は１５ページをご覧ください。

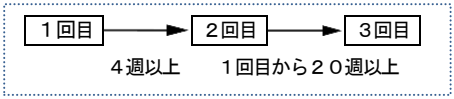
１　対象者　　１歳未満のお子さん

（母子感染予防のために健康保険によりB型肝炎ワクチンの投与を受けた場合は対象となりません。）

２　接種回数と受け方　　３回接種します。

４週間以上の間隔で**２回**接種します。

さらに１回目から２０週以上経過した後に**１回**接種します。



３　接種間隔について

上に記載している受け方は，標準的な接種間隔であり，これを外れてしまった場合でも接種することはできますが，ワクチンの免疫を効果的につけるために，所定の間隔を守ることがとても重要です。

４　接種後の注意

※一般的注意事項については３・４ページを参照してください。

①　予防接種後に接種部位が赤くなったり，腫れたりすることがありますが，このときは接種部位を冷やしてください。

②　これまでのB型肝炎ワクチンの副反応データから，多発性硬化症，急性散在性脳脊髄炎，末梢神経障害などの副反応が，まれに生じる可能性もあります。

【四種混合ワクチン】（個別接種）

ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ（小児マヒ）を予防するワクチンです。病気の説明は１５・１６ページをご覧ください。

１　対象者　　生後２か月～７歳６か月未満のお子さん
　　※令和５年４月から開始時期が変更になりました。

２　接種回数と受け方　　４回接種します。

１期初回：**３～８週間の間隔**で**３回**接種します。
（遅くても１歳までには接種を済ませることをお勧めします）

１期追加：１期初回３回目を接種後，６か月以上の間隔をおいて**１年～１年６か月**の間に**１回**接種します。（７歳６か月未満まで接種できます。）

１期初回１回目 → ２回目 → ３回目 → １期追加
３～８週間　３～８週間　１年～１年６か月

３　接種間隔について

上に記載している受け方は，標準的な接種間隔であり，これを外れてしまった場合でも接種することはできますが，ワクチンの免疫を効果的につけるために，所定の間隔を守ることがとても重要です。

４　接種後の注意

※一般的注意事項については３・４ページを参照してください。

①　予防接種後に接種部位が赤くなったり，腫れたり，しこりができることがありますが，このときは接種部位を冷やしてください。
　ただし，発熱（１～２日目）やひじをこえて上腕全体がはれる等の**症状**があるときは，医師の診察を受けてください。

百日せきは，乳児期にかかると重症になりやすいので，なるべく早めに四種混合ワクチンを接種するようにしましょう。

【二種混合ワクチン（第２期）】（個別接種）

ジフテリア・破傷風を予防するワクチンです。

１　対象者　　１１歳～１３歳未満のお子さん（小学校６年生のとき）
　※７歳６か月未満までに，四種混合ワクチンの接種を終了して，基礎免疫が得られたお子さんが対象です。

２　接種回数　　１回接種します。

３　その他　　**小学校６年生になりましたら，予診票も含め個別通知します。**

【麻しんおよび風しんのワクチン】（個別接種）

麻しん（はしか）および風しん（三日はしか）を予防するワクチンです。病気の説明は１６ページをご覧ください。

１　対象者および接種の受け方

第１期　１歳～２歳未満のお子さん

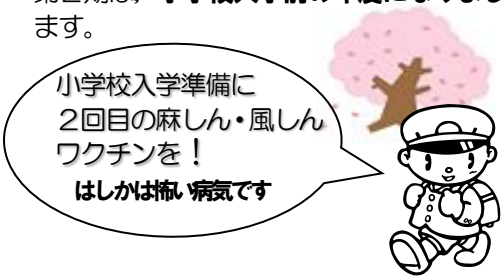
第２期　５歳～７歳未満のお子さんで小学校入学前の１年間の時期

（いわゆる幼稚園・保育園等の年長さん。入学前年の４月１日～３月３１日の期間）

２　接種回数と受け方　　それぞれ１回接種します。

３　第１期は，**１歳になったらなるべく早い接種**をお勧めします。

第２期は，**小学校入学前の年度になりましたら，予診票も含め個別通知**します。



★原則，**麻しん風しん混合（MR）ワクチン**を接種します。
★どちらかにかかったことがある場合は，MRワクチンまたはかかっていない方の単独ワクチンを接種できます。どちらのワクチンを接種するかは医師と相談のうえ決めてください。

４　接種後の注意

※一般的注意事項については３・４ページを参照してください。

①　**麻しん風しん混合（MR）ワクチン**の接種直後または4～１４日の間で発熱，発疹等がみられることがありますが，いずれも1～3日で消失します。また，鼻汁やせきが出たり，注射部位の発赤などがみられることがあります。

②　**麻しんワクチン**の接種後7～１０日の間で発熱や発疹など，軽い麻しんに似た症状が出ることがあります。いずれも数日で消失します。

③　**風しんワクチン**の接種後，まれに軽い発熱，発疹，リンパ節腫脹，関節痛などの症状が出ることがあります。

④　発熱，けいれんその他**異常な症状**があるときは，**速やかに医師の診察**を受けてください。

⑤　これまでの麻しんおよび風しんワクチンの副反応データから，アナフィラキシー，血小板減少性紫斑症，脳炎，脳症およびけいれんなどの副反応が，まれに生じる可能性もあります。

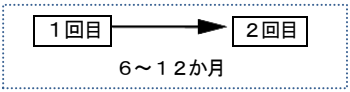
⑥　異なる注射生ワクチンの接種は，**麻しんおよび風しんのワクチン接種後４週間（２７日）以上の間隔**をあけて受けましょう。

【水痘ワクチン】（個別接種）

水痘（水ぼうそう）を予防するワクチンです。病気の説明は１７ページをご覧ください。

１　対象者　　１歳～３歳未満のお子さん

２　接種回数と受け方　　２回接種します。



６～１２か月以上の間隔で**２回**接種します。

（１回目は１歳～１歳３か月までに済ませることをお勧めします。）

３　接種間隔について

上に記載している受け方は，標準的な接種間隔であり，これを外れてしまった場合でも接種することはできますが，ワクチンの免疫を効果的につけるために，所定の間隔を守ることがとても重要です。

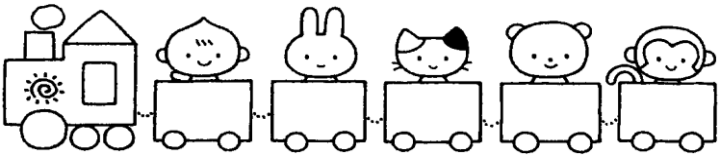
４　接種後の注意

※一般的注意事項については３・４ページを参照してください。

①　予防接種後に接種部位が赤くなったり，腫れたりすることがありますが，このときは接種部位を冷やしてください。

②　これまでの水痘ワクチンの副反応データから，アナフィラキシー，急性血小板減少性紫斑病などの副反応が，まれに生じる可能性もあります。

③　異なる注射生ワクチンの接種は，**水痘ワクチン接種後４週間（２７日）以上の間隔**をあけて受けましょう。



【日本脳炎ワクチン】

日本脳炎を予防するワクチンです。病気の説明は１７ページをご覧ください。

１　対象者　　１期：生後６か月～７歳６か月未満のお子さん
　　２期：９歳～１３歳未満のお子さん

２　接種回数と標準的な受け方　　４回接種します。
　１期初回：３歳の時に１～４週間の間隔で２回接種します。
　１期追加：１期初回２回目を接種後，おおむね１年を経過した４歳の時に１回接種します。
　２　　期：９歳の時に１回接種します。

３　接種間隔について
　上に記載している受け方は，標準的な接種間隔であり，これを外れてしまった場合でも接種することはできますが，ワクチンの免疫を効果的につけるために，所定の間隔を守ることがとても重要です。

４　接種後の注意
※一般的注意事項については３・４ページを参照してください。
①　予防接種後に接種部位が赤くなったり，腫れたりすることがありますが，このときは接種部位を冷やしてください。
②　**日本脳炎ワクチン**の接種直後から３日後までに発熱，発疹等がみられることがあります。
③　これまでの日本脳炎ワクチンの副反応データから，アナフィラキシー，急性散在性脳脊髄炎，脳炎・脳症，けいれんおよび血小板減少性紫斑病などの副反応が，まれに生じる可能性もあります。

５　その他　　**小学校３年生（９歳になる年度）になりましたら，予診票も含め個別通知します。**

《小学生・中学生になってからの定期予防接種》

種類	接種対象年齢	接種回数	接種場所	備考
二種混合（ジフテリア・破傷風）	１１歳～１３歳未満	２期１回	通　年 予防接種実施医療機関	小学校６年生のときに個別通知します。
日本脳炎	９歳～１３歳未満	２期１回		小学校３年生のときに個別通知します。
子宮頸がん予防	小学校６年生～高校１年生の女子	３回		中学校１年生のときに個別通知します。

【定期予防接種の対象となる病気の説明】

◆結核

結核菌の感染で起こります。日本の結核患者はかなり減少しましたが，大人から子どもへ感染することも少なくありません。

また，結核に対する抵抗力（免疫）はお母さんからもらうことができないので，生まれたばかりの赤ちゃんもかかる心配があります。乳幼児は結核に対する抵抗力（免疫）が弱いので，全身性の結核症にかかったり，結核性髄膜炎になることもあり，重い後遺症を残す可能性があります。

◆ロタウイルス感染症

ロタウイルスは手や食べものを介して口から入ることにより感染します。年齢にかかわらず何度も感染しますが，初感染時が最も重症で，その後の感染を繰り返すにつれて軽症化し，症状の出ない不顕性感染も見られます。主な症状は，急性胃腸炎（ロタウイルス胃腸炎）で，ときに脱水，けいれん，肝機能異常，腎不全，脳症等を合併します。

◆細菌性髄膜炎などの感染症

ヒブ（Ｈｉｂ＝ヘモフィルスインフルエンザ菌ｂ型）や肺炎球菌は，子どもの鼻やのどにいる身近な菌ですが，体力や抵抗力が落ちたときなどに，いつもは菌がいないところに入り込んで，細菌性髄膜炎，肺炎，重い中耳炎などのいろいろな病気を引き起こし，特に細菌性髄膜炎の原因菌の７０～８０％だといわれています。

特に赤ちゃんのうちは，病気に対する抵抗力（免疫）が弱いので，細菌性髄膜炎にかかって命を奪われたり，重い後遺症を残す可能性があります。

◆Ｂ型肝炎

Ｂ型肝炎ウイルスに感染している人の血液や体液を介して感染します。感染していても症状が現れにくいため，気づかないうちに肝臓の炎症が進み，慢性肝炎となり，肝硬変や肝がんなどに進行していくことがあります。

◆ポリオ

「小児マヒ」と呼ばれ，日本でも 1960 年代前半までは流行を繰り返していました。現在は，予防接種の効果により国内の自然感染は報告されていませんが，流行している地域から日本にポリオウイルスが入ってくる可能性があります。

ただし，ほとんどの場合は症状が出ず，一生抵抗力(終生免疫)が得られますが，症状がでる場合，ウイルスが血液を介して脳，脊髄へ感染が広まり麻痺を起こすことがあります。ポリオウイルスに感染すると，カゼ様の症状を呈し，発熱，頭痛，嘔吐があらわれます。そのうち約 1,000～2,000 人に 1 人の割合で手足の麻痺を起こすことがあり，一部の人は永久麻痺が残ったり，呼吸困難により死亡したりすることもあります。

◆百日せき

百日せき菌の飛沫感染で起こります。百日せきは普通のカゼ症状で始まり，続いてせきがひどくなり顔を真っ赤にしてせき込むようになり，笛を吹くような音が出ます。乳幼児はせきで呼吸ができず，唇が青くなったり（チアノーゼ），けいれんが起きることがあります。肺炎や脳症などの重い合併症を起こし，乳児では命を落とすこともあります。

◆ジフテリア

ジフテリア菌の飛沫感染で起こります。ジフテリアは感染しても10%程度の人に症状が出るだけで，残りの人は症状が出ない保菌者となり，その人を通じて感染することがあります。感染は主にのどですが，鼻にも感染します。症状は高熱，のどの痛み，犬吠様のせき，嘔吐などで，偽膜と呼ばれる膜ができて窒息死することもあります。発病2～3週間後には菌が出す毒素によって心筋障害や神経麻痺を起こすことがあります。

●飛沫感染
ウイルスや細菌がせきやくしゃみなどにより細かい唾液や気道分泌物につつまれて空気中に飛び出し，約1mの範囲で人に感染させることです。

◆破傷風

破傷風菌の感染で起こります。破傷風菌はヒトからヒトへ感染するのではなく，土の中にいる菌が傷口から体内に入ることで感染します。

菌の出す毒素のために口が開かなくなったり，けいれんを起こしたり，死亡することもあります。患者の半数は本人や周りの人では気がつかない程度の軽い刺し傷が原因です。土中に菌がいるため感染する機会は常にあります。

◆麻しん（はしか）

麻しんウイルスの空気感染で起こります。感染力が強く，予防接種を受けないと多くの人がかかる病気です。発熱，せき，鼻汁，めやに，発疹を主症状とします。3～4日間は38℃前後の熱で，一時おさまりかけたかと思うとまた39～40℃の高熱と発疹が出ます。高熱は3～4日間で下がり，次第に発疹も消えますが，しばらく色素沈着が残ります。

主な合併症として，気管支炎，肺炎，中耳炎，脳炎があり，麻しん（はしか）にかかった人は数千人に1人の割合で死亡します。

●空気感染
ウイルスや細菌が空気中に飛び出し，1mを超えて人に感染させることです。
はしか，水ぼうそう，結核等が空気感染します。

◆風しん（三日はしか）

風しんウイルスの飛沫感染で起こります。軽いカゼ症状で始まり，発疹，発熱，頸部リンパ節腫脹などが主症状です。眼球結膜の充血もみられ，発疹や熱も約3日間で治るので「三日ばしか」と呼ばれることがあります。合併症として，関節痛，血小板減少性紫斑病，脳炎などがあり，大人になってからかかると重症になります。

妊婦が妊娠初期にかかると，先天性風しん症候群と呼ばれる病気により,心臓病，白内障，聴力障害などの障害を持った子どもが生まれる可能性が高くなります。

◆水痘（水ぼうそう）

水痘一帯状疱疹ウイルスの飛沫感染で起こります。主な症状は，発疹，発熱で，健康な小児の場合は，一般に軽症で済みます。発熱は約 2～3 日続きます。合併症として，肺炎，気管支炎，肝炎，皮膚の細菌感染症，脳炎などがあり，大人になってからかかると重症になります。

妊婦が妊娠初期にかかると，重症化しやすく，また，先天性水痘症候群と呼ばれる病気により,低出生体重，四肢低形成などの障害を持った子どもが生まれる可能性があります。

◆日本脳炎

日本脳炎ウイルスの感染で起こります。ヒトから直接ではなく，ブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。7～10 日の潜伏期間の後，高熱，頭痛，嘔吐，意識障害，けいれんなどの症状を示す急性脳炎になります。ヒトからヒトへの感染はありません。

流行は西日本地域が中心ですが，ウイルスは北海道など一部を除く日本全体に分布しています。以前は小児，学童に発生していましたが，予防接種の普及などで減少し，最近では予防接種を受けていない高齢者を中心に発生しています。感染者のうち 100～1,000 人に１人が脳炎等を発症します。脳炎にかかった時の死亡率は約 20～40%ですが，神経の後遺症を残す人が多くいます。

【主な任意の予防接種】

任意予防接種とは，保護者の方が接種をするかどうかを判断する予防接種で，接種費用は有料になります。希望する場合は，医師と相談してください。

ワクチン名	接種時期	回数	接種間隔等
おたふくかぜ	１歳以上	2回	１歳で１回 ３歳～６歳の間に１回
季節性 インフルエンザ	生後6か月以上	2回	2～4週間の間隔 （１０月から１１月頃に）

※おたふくかぜのワクチンは，近年２回接種が推奨されています。

《予防接種の記録について》

接種記録として，母子健康手帳に記入されたり，接種済証が発行されたりしますが，小学校に入学する時の健康診断をはじめ，将来的に進学や海外留学，就職などの際にも必要となりますので，大切に保管しましょう。

予防接種実施医療機関

地区	医療機関	電話	住所	ロタ	ヒ・肺	四	MR・水痘	脳	B肝	BCG
西部	内科･小児科･歯科竹田クリニック	26-5811	元町 29-21	○	○	○	○	○	○	○
中央部	深瀬医院	41-1221	松川町 30-12	／	○	○	○	○	○	／
	共愛会病院	51-2111	中島町 7-21	○	○	○	○	○	○	／
	はぎさわ小児クリニック	33-1122	時任町 23-10	○	○	○	○	○	○	○
	函館中央病院	52-1231	本町 33-2	○	○	○	○	○	○	○
	五稜郭ファミリークリニック小児科	31-6660	柏木町 11-10	○	○	○	○	○	○	○
東央部	石崎小児科医院	59-1233	湯川町1丁目17-19	○	○	○	○	○	○	○
	第一内科医院	57-9401	湯川町3丁目21-5	／	／	○	△	○	／	／
	多田内科医院	57-7755	湯川町3丁目31-6	○	○	○	○	○	○	○
北東部	あんざいクリニック	31-2212	本通3丁目 27-6	○	○	○	○	○	○	／
	すずき小児科	45-4153	美原 1 丁目 39-20	○	○	○	○	○	○	○

※ヒ：ヒブ，肺：小児用肺炎球菌，四：四種混合，MR：麻しん風しん混合，脳：日本脳炎（15 才未満）,B肝：B型肝炎

△：麻しん風しん混合のみ

※R５．４月時点の予防接種実施状況です。

ワクチンの種類や実施方法については，実施医療機関にお問い合わせください。

★必ず事前に予約をしてください。

地区	医療機関	電話	住所	ロタ	ヒ・肺	四	MR・水痘	脳	B肝	BCG
北部	市立函館病院	43-2000	港町１丁目 10-1	○	○	○	○	○	○	○
	中川内科クリニック	46-8008	桔梗３丁目 14-37	○	○	○	○	○	○	／
	みどりの森さとう内科・こどもクリニック	46-1212	桔梗４丁目 8-25	○	○	○	○	○	○	／
	えんどう桔梗こどもクリニック	47-3011	桔梗５丁目 7-16	○	○	○	○	○	○	○
	さいとう小児クリニック	34-3355	石川町 163-2	○	○	○	○	○	○	○
	斉藤内科クリニック	41-5632	亀田港町 1-6	／	／	／	○	／	○	／
	函館新都市病院	46-1321	石川町 331-1	○	○	○	○	○	○	○
	港町こどもクリニック	85-8889	港町 1-11-18-2Ｆ	○	○	○	○	○	○	○
	一色クリニック	86-5527	石川町 181-56	／	／	／	／	○	／	／
東部	市立函館恵山病院	85-2001	日ノ浜町 15-1	／	／	○	△	○	／	／
	市立函館南茅部病院	25-3511	安浦町 92	○	○	○	○	○	○	／
	椴法華クリニック	86-2807	新浜町 171-9	○	○	○	○	○	○	／
渡島	かみいそこどもクリニック	74-2611	北斗市中央2丁目4-3	○	○	○	○	○	○	○
	ほくと小児クリニック	48-1711	北斗市追分 2-66-12	○	○	○	○	○	○	○
	はるこどもクリニック	65-0500	七飯町本町6丁目7-42	○	○	○	○	○	○	○
	望ヶ丘医院	65-8111	七飯町大川3丁目5-28	○	○	○	○	○	○	○
	小児科ひよこクリニック	65-1311	七飯町大川8丁目12-15	○	○	○	○	○	○	○

※ヒ：ヒブ，肺：小児用肺炎球菌，四：四種混合，MR：麻しん風しん混合，脳：日本脳炎（15才未満）,B肝：B型肝炎
△：麻しん風しん混合のみ，

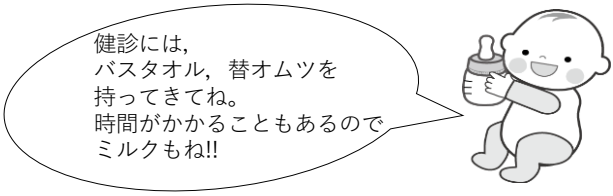
※R５．４月時点の予防接種実施状況です。
ワクチンの種類や実施方法については，実施医療機関にお問い合わせください。

【乳幼児健康診査等の日程】

（令和５年４月現在）

健診名	実施日	通知	持参するもの	備　　考
４か月児健診	毎週 木曜日 （午後）	有	母子健康手帳 アンケート バスタオル	
１０か月児健診	毎週 木曜日 （午前）	有	母子健康手帳 アンケート バスタオル	
１歳６か月児健診	毎週 火曜日	有	母子健康手帳 アンケート バスタオル 歯ブラシ	
３歳児健診	毎週 水曜日	有	母子健康手帳 アンケート 検尿セット 歯ブラシ	事前に「視力検査セット」を送りますので，自宅で検査し，アンケートに記入してください。尿検査は健診当日に家庭でとってお持ちください。
幼児歯科健診 （フッ素塗布）	予約制		母子健康手帳 歯ブラシ フッ素塗布料金	函館口腔保健センターへ電話で予約してください。 また，健診当日の際には，健診の受付でお申し出ください。

★実施日は，都合により変更することもあります。通知で確認されるか，下記の連絡先にお問い合わせください。



◆乳幼児健診，予防接種については
子ども未来部 母子保健課　　Tel 32-1533　Fax 32-1506
市立函館保健所 東部保健事務所 Tel 86-3033　Fax 86-2333

◆栄養，離乳食については
保健福祉部 健康増進課　　Tel 32-1515　Fax 32-1526

◆幼児歯科健診については
函館口腔保健センター　　Tel 56-8148　Fax 56-8120

すくすくジャパン!

予防接種のしおり

令和５年４月発行

発行　函館市子ども未来部母子保健課

〒040-0001　函館市五稜郭町23番1号（函館市総合保健センター１階）